ottobock.

CE

オットーボック製品 取扱説明書

製品名： 歩行器

ヌルミ ネオ
（Nurmi Neo）

品番 HR2426=0000_K

2015 年 2 月版

はじめにお読みください

本書は、ご家庭、施設、学校などで「ヌルミ ネオ」を操作されるお子様、介助者の方に読んでいただくものです。使用の前に、この取扱説明書を良くお読みになり、内容を充分にご理解お願い致します。また、お読みになった後、手元に保管し、お子様の身体状況に変化があった場合、使用に関して不明な点がでた場合などは、必要に応じて繰返しお読みください。
この取扱説明書に従って使用いただけない場合、お子様や、介助者が事故を起したり、ケガをする恐れがあります。
＊本製品は、本書の説明の内容ならびに、使用目的に従って使用された場合にのみ、保証の対象となります。
本書は弊社のホームページからも PDF の形式でダウンロードできます。本書の内容に関してのご質問は、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

目　次

1章	はじめに	4頁
	1．1　序文	
	1．2　使用目的	
	1．3　責任	
	1．4　サービス	
2章	各部の名称	5頁
3章	安全にお使いいただくために	6頁
	3．1　記号の意味	
	3．2　総合的な安全に関する注意事項	
4章	使用準備　（開梱と組立）	9頁
	4．1　納品	
	4．2　組立	
5章	各部の調整方法	12頁
	5．1　ハンドル（全ての種類）の高さと前後位置の調整方法	
	5．2　ストレートハンドル	
	5．3　ユニバーサルグリップハンドル	
	5．4　セットハンドル ミニ	
	5．5　縦型ハンドル　（前腕サポート付属）	
	5．6　逆転防止装置（後輪）	
	5．7　折りたたみ	
6章	アクセサリー（オプション）	15頁
	6．1　バスケット	
	6．2　後輪ブレーキ（減速と駐車）	
	6．3　バックサポートと骨盤サポートパッド	
	6．4　転倒防止装置	
	6．5　前輪キャスターロック	
	6．6　摩擦ブレーキ	
	6．7　シート	
	6．8　スリングシート	
7章	メンテナンス、清掃と消毒	20頁
8章	テクニカルデータ	21頁
9章	オットーボック社製品の保証条件	22頁
10章	再利用情報	22頁

１章　はじめに

１．１ 序文

この度はオットーボック社の「ヌルミ ネオ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この製品は調整機能を有した、高品質な子ども用歩行器です。「ヌルミ ネオ」の機能を充分にお使いいただき、お子様が安全にご使用いただくため、本製品をご使用になる前に、必ず本書をお読みください。
ご利用のヌルミネオが本書で図解したモデルと異なる場合があります。
使用に際しての疑問や問題が発生した場合には、速やかにお買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

１．２ 使用目的

歩行器「ヌルミ ネオ」は“ポステリアウォーカー”と呼ばれる、フレーム前方がオープンになった、後部からお子様を支えるデザインの子ども用歩行器です。お子様が歩行器を押して歩くタイプの歩行器ではなく、歩行器をお子様の後ろに置いて、引いて歩く設計になっていますので、歩行の際に足場が自由になり、的確な姿勢で前進することができます。

参考文献：
Catalogue of appliances and list of appliances of the health insurance companies, Federal Republic of Germany.

ヌルミ ネオは小児から青年期のお子様用の歩行器です。歩行するための下肢の一連の動きを上肢の力でサポートします。歩行器はお子様が歩行に必要とされる一連の動きを学び、活動の範囲を広げる助けとして使用されます。運動機能に障がいがあったり、平行感覚異常や協調運動障害のお子様の場合は歩行の訓練用機器として使用されます。

本製品は立位時および歩行時に、直立姿勢を促進するように設計された歩行器です。ヌルミ ネオは、一般的な歩行補助具と違い、自然な歩行の動きを促進しますので、お子様が立ったり、歩いたりすることを学んだり、バランス感覚を向上させるのに大変適しています。

１．３ 責任

記載されている条件、使用目的以外で使用した場合の事故および故障などは保証の対象となりません。また、本書に従い使用、メンテナンスをされることをお勧めします。
指定されている部品、スペアパーツ以外を使用して事故が起こった際の責任は負いかねます。修理は必ずお買い求めになられた販売店に依頼してください。

１．４ サービス

調整、メンテナンス、修理はお買い求めになられた販売店で行ってください。修理に必要なパーツはオットーボックが指定しているパーツを使用してください。使用に際して問題が発生した場合は、速やかにお買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

２章　各部の名称

ヌルミ ネオ

① 後輪タイヤ
② 前輪キャスター
③ ハンドル
④ フロントフレーム
⑤ 逆転防止装置
⑥ 折りたたみ機構
⑦ ハンドル高さ固定レバー
⑧ リアフレーム

3章　安全にお使いいただくために

3．1 記号の意味

⚠ 警告

警告
取扱いを誤ると、「人が死亡又は重症などを負う可能性が想定される」ことを警告する表示です。

⚠ 注意

注意
取扱いを誤ると、「人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が予測される」ことを注意する表示です。

アドバイス
守っていただきたいこと、また、知っておくと便利な事項の表示です。

3．2 総合的な安全に関する注意事項

⚠ 警告

- はじめに取扱説明書 (以下本書) をよくお読みください！使用の前に、「製品の操作と機能」についてよく理解してください。記載事項を守っていただかない場合、お子様の安全を損なう可能性があります。想定できない環境や状況下においては事故が起こる可能性があることをご理解ください。
- **梱包材の取扱いの危険**　包装材料は乳幼児の手の届かないところに保管してください。口に入れたり、頭からかぶるなどして窒息のおそれがあります。

⚠ 注意

- **パーツが正しく機能しない危険**　使用する前には必ずフレーム、シート、パッド類等全てのパーツが正しく機能するかを確認してください。
- **介助者なしでの転倒の危険**　ヌルミ ネオは歩行訓練機器ですので、必ず介助者の監視のもと使用してください。ご利用中は決してお子様のそばを離れないでください。

3．2- 1　使用に際しての危険

⚠ 注意

- **誤った使用方法による事故の危険**　この製品は地面がしっかりした（平坦な）場所でのみ使用してください。
- **重心の移動による転倒の恐れ**　お子様が歩行器の前方、横、後方にある物を取る時には、歩行器より過度に身を乗り出さないようにしてください。重心のバランスが崩れ、転倒するなどの恐れがあります。
- **耐荷重を超えた場合の転倒の恐れ**　ヌルミ ネオに重いバックを掛けたりする等、荷重を掛けないでください。安定が損なわれ、お子様が転倒する恐れがあります。それぞれのサイズの耐荷重を守ってください。（耐荷重はテクニカルデータを参照ください。）
- **手を挟む恐れ**　ヌルミネオを折りたたむ際には、本書で説明している箇所以外を持たないでください。手を挟む恐れがあります。特に折りたたみ機構には触れないでください。

  指を挟む恐れ　シートがしっかりと正しい位置に下されていないと、シートとフレームの間に指を挟む恐れがあります。

3．2- 2　組付け、調整が正しくないことによる危険

⚠ 注意

- **調整範囲を超えたハンドルの取付けによる転倒の恐れ**　ハンドルの高さはスプリングストッパーのロックが掛かる高さが延長限度です。限度を超えてハンドルの高さを設定しないでください。お子様が転倒する恐れがあります。
- **ブレーキを使用せずに障害物を乗り越えた際の転倒の恐れ**　減速をせずに障害物を乗り越えると転倒する恐れがあります。障害物（段差や縁石）を乗り越える時には減速をしてください。
- **ハンドルの高さ調整後に転倒する恐れ**　ハンドルの高さを調整した後は、ハンドルの前後位置が正しい範囲にあるかを確認してください。ハンドルが規定値よりも前に出ている場合は、重心が前方に掛かりすぎて、お子様が前に転倒する恐れがあります。（規定値は 3 章の組立の項目をご参照ください。）
- **ハンドル / 前腕サポートの不適切な調整による転倒の恐れ**　ハンドル／前腕サポートをハンドルの調整範囲を超えた箇所で設定しないでくさい。お子様が転倒する恐れがあります。
- **ハンドルが外れて怪我をする恐れ**　ハンドルは最大の高さでスプリングストッパーのロックが掛かります。ストッパーのロックが掛かっていても、ハンドルの固定レバーは常に締めておいてください。

アドバイス

- 全ての調整レバーは工具を使用せずに手指で締めてください。
- ボルトとナットを緩めて調整をした場合は、全てのボルトとナットを再度しっかりと締め直してください。

3．2- 3　タイヤの不具合による危険

⚠ 注意

- **タイヤの摩耗による転倒の危険**　長期間使用するとタイヤが摩耗し、ブレーキが効き難くなり、お子様が転倒する恐れがあります。ブレーキが正しく作用するか定期的に確認し、調整してください。タイヤが摩耗して傷んでいる場合は交換してください。

3．2- 4　火・熱による危険

⚠ 注意	● **火の取扱いにおける火傷の危険**　スリングシートは引火することがあります。あらゆる火の元、特にタバコの火には気を付けてください。

3．2- 5　ヌルミネオが破損する恐れ

⚠ 注意	● **重量オーバーによる転倒の恐れ**　耐荷重を超えてシートを使用すると、フレームとシートの接続部分が破損して、お子様が転倒する恐れがあります。 シートとスリングシートの耐荷重はサイズ 1 で 25kg、サイズ 2 で 40kg、サイズ 3 で 55kg です。 ● **フレームに圧力が掛かることによる破損の恐れ**　フレームを折りたたんだ状態で運ぶ時は、フレームの上に重いものを載せないでください。フレームが変形して、広げられない恐れがあります。 ● **重量オーバーによる破損の恐れ**　バスケットの耐荷重は 5kg です。耐荷重を超えてバスケットを使用した際はバスケットが破損する恐れがあります。 ● **不適切な梱包による破損の恐れ**　輸送する場合は、本製品が梱包されてきたパッケージを使用してください。

4章　使用準備　（開梱と組立）

4．1 納品

納品時に含まれる製品は、以下となります。

・折りたたみ式フレーム（ノンパンクタイヤ、逆転防止装置：後輪、前輪自在）
・高さ、前後位置調整可能ハンドル
・注文されたオプション製品（フレームに既に取り付けている製品もあります。）
・取扱説明書（本書）

4．2 組立

1） 梱包材を取り除き、フレームを床に置いてください。（写真 1）

2） 前輪（小さいタイヤ）の上を持って、写真のようにフレームを広げてください。（写真 2）

3） フレームを開いたら、両側の星形のグリップを締めます。（写真 3）

4） ハンドル部分のフレームについているバーを垂直になるように引き上げます。（写真 4）

5） 車輪部分のフレームの受けにバーを差し込みます。（写真 5）

6） バーの先にあるスプリングストッパーを押して、ストッパーのロックが掛かるまで左側、右側と交互にバーを押し込みます。（写真 6）

⚠ 注意

● **調整範囲を超えたハンドルの取付けによる転倒の恐れ**
ハンドルの高さはスプリングストッパーのロックが掛かる高さが延長限度です。限度を超えてハンドルの高さを設定しないでください。お子様が転倒する恐れがあります。

以下の指示を守ってください。

7） ハンドルを希望の高さで調整しましたら、両側の固定レバー（写真 7）を締めてください。

8） 固定レバーを締めたらハンドルがしっかりと固定されているかチェックしてください。普通の力でハンドルを押しても動かないことを確認してください。ハンドルが動いてしまう場合は、固定レバーをあけて、内側のナットを時計回りの方向に回して、締める力を上げてください。（写真 8）

ハンドルが外れて怪我をする恐れがあります。ハンドルは最大の高さでスプリングストッパーのロックが掛かかります。ストッパーのロックが掛かっていても、ハンドルの固定レバーは常に締めておいてください。

⚠ 注意

● **調整範囲を超えたハンドルの取付けによる転倒の恐れ**
ハンドルの前後位置は常にキャスター上部のカバー部分より内側の規定された範囲内に設定してください。調整範囲を超えて設定した場合はお子様が転倒する恐れがあります。

9） 最後にハンドルを希望する位置に調整します。その際にハンドルが左右均等になるように調整してください。調整後に固定レバーを締めます。（写真 9）

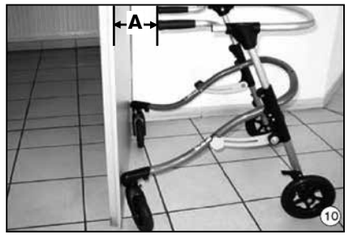
ハンドルの前後位置はハンドルの先がキャスター上部のカバー部分よりも下記の表にある A の長さ分後方にくるように設定しなくてはなりません。
縦型ハンドルを使用している場合は、縦型ハンドルの先がキャスター上部のカバー部分よりも下記の表にある A の長さ分後方にくるように設定しなくてはなりません。

Aの最少値	サイズ 1	サイズ 2	サイズ 3
ストレートハンドル使用の場合	11 cm	15 cm	19 cm
ユニバーサルグリップハンドル使用の場合	11 cm	15 cm	19 cm
セットハンドルミニ使用の場合	11 cm	15 cm	19 cm
縦型ハンドル（前腕サポート付属）使用の場合	18 cm	20 cm	22 cm

記載されている A の値より短くハンドルを設定しないでください。

１０）ハンドルの前後位置が正しく設定されているか、以下のように確認すると便利です。（写真 10）

キャスターを横向きにしてキャスター上部のカバー部分を平らなドア等に付け、ドアからハンドルまたは縦型ハンドルの先までの長さを測ります。その際キャスターの上部カバーは押し込んだ状態にしてください。



⚠ 注意

● **ハンドルの高さ調整後に転倒する恐れ** ハンドルの高さを調整した後は、ハンドルの前後位置が正しい範囲にあるかを確認してください。ハンドルが規定値よりも前に出ている場合は、重心が前方に掛かりすぎて、お子様が前に転倒する恐れがあります。

5章　各部の調整方法

5．1 ハンドル（全ての種類）の高さと前後位置の調整方法

ハンドルは希望する高さに調整することができます。高さと前後位置の調整方法は４章　使用準備(開梱と組立）を参照して調整してください。

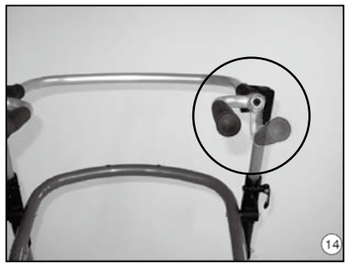
5．2 ストレートハンドル

ストレートハンドルの調整方法は、４章　使用準備（開梱と組立）を参照して調整してください。(写真 11 と 12)

5．3 ユニバーサルグリップハンドル

6mm の六角レンチでグリップハンドルのボルトを緩めると、両側のユニバーサルグリップを回すことができます。(写真 13)

グリップを回して左右のグリップの幅、高さを調整してください。ユニバーサルグリップの高さは（写真 14）に示されている範囲内で調整できます。(テクニカルデータを参照してください）調整後はボルトを再度しっかり締め直してください。



⚠ 注意

● **不適切な設定による転倒の恐れ**
ユニバーサルグリップはハンドルの外側には設定しないでください。お子様が転倒する恐れがあります。

5．4 セットハンドル ミニ（サイズ 1 のみ装着が可能です）

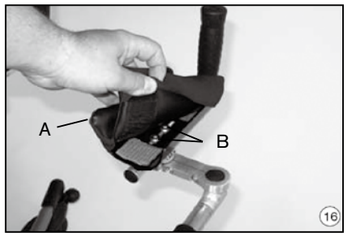
セットハンドル ミニ（写真 15）を使用するとグリップの高さを一番低く、また左右のグリップの幅も最も小さく設定することができます。
調整の仕方は上記のユニバーサルグリップハンドルと同じです。
グリップ部を上向きには設定しないでください。

⚠ 注意

● **不適切な設定による転倒の恐れ**
セットハンドル ミニはグリップ部を上向きには設定しないでください。お子様が転倒する恐れがあります。

5．5 縦型ハンドル　（前腕サポート付属）

前腕サポートが付属している縦型ハンドルは腕を伸ばした状態で自分を支えることが難しいお子様、前腕で身体を支えることによって安定感が得られるお子様向けに設計されています。



前腕サポート付縦型ハンドルの高さ調整はハンドルの高さ調整と同じです。

ボルト（写真 17 の B）を緩めると、縦型ハンドルの角度と前後位置（写真 17 の A）が調整できます。

前腕サポート部分の前後位置はパッド部分を取り外して（写真 16A)、ボルト（写真 16 の B）を緩めると変更できます。

前腕サポートと縦型ハンドルの距離は前腕に圧が掛かりすぎず、正しい姿勢が取れるように調整してください。固定金属部のボルト（写真 17 の C）を緩めることで、左右の前腕サポートの幅を調整することができます。（調整範囲についてはテクニカルデータを参照ください。）

前腕サポート付縦型ハンドルは矢印の範囲内でのみ調整できます。（写真 18）
前腕サポートは外転で設置することも可能です。
調整後はボルトをしっかり締め直してください。

⚠ 注意

● **不適切な設定による転倒の恐れ**　前腕サポート付縦型ハンドルのグリップ部をハンドルの外側にくるようには設定しないでください。お子様が転倒する恐れがあります。

5．6 逆転防止装置（後輪）

⚠ 注意	● **逆転防止装置が正常に作動しないことによる転倒の恐れ** 後輪の逆転防止装置が正しく作動するか定期的にチェックしてください。場合によっては調整をお願いします。また、タイヤが摩耗して傷んでいる場合は交換してください。

お子様は無意識に後方に倒れる傾向があります。そのためヌルミ ネオは逆転防止装置（写真 19）を装備し、お子様に安全で的確なサポートを提供しています。

逆転防止装置を無効にしたい場合は、ロック部分を押して解除してください（写真 20)。

これにより歩行器は前にも後ろにも自由に動かすことができます。

5．7 折りたたみ

⚠ 注意	● **手を挟む恐れ**　ヌルミ ネオを折りたたむ際には、本書で説明している箇所以外を持たないでください。手を挟む恐れがあります。特に折りたたみ機構には触れないでください。

先ず、両側の星形のグリップ（写真 21）を緩めて、グリップをスライドさせて折りたたみます。
歩行器のハンドル部分を持って歩行器を持ち上げて、後輪側にハンドル部分のフレームを倒して、折りたたみます。歩行器が広がらないように、星形グリップをしっかり締めて歩行器を固定します。
（写真 22）

ハンドル部分をフレームから取り外せば、更にコンパクトに折りたたむことができます。

ハンドルの取り外しは「４章　使用準備　（開梱と組立）」の説明をご覧ください。

6章　アクセサリー（オプション）

全てのアクセサリーはお買い求めになられた販売店にて取付けられています。

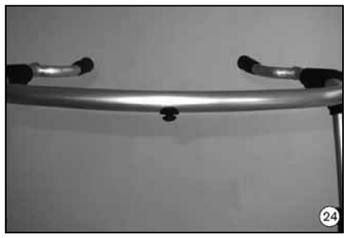
6．1 バスケット

⚠ 注意	● **重量オーバーによる破損の恐れ**　バスケットの耐荷重は 5Kg です。耐荷重を超えてバスケットを使用した際はバスケットが破損する恐れがあります。

物を運ぶバスケットとしての使用だけでなく、お子様が歩いて集めたものをバスケットに入れる等のセラピーの目的でも使用することができます。

ハンドル部分のフレームに装着したバスケット（写真 23）はワンタッチロックで取り外すことも可能です。

使用しているアクセサリーによって（例えば、バックサポートを装着している場合)、バスケットは真ん中でなく横側に取付けることが可能です。ワンタッチロック用のバスケットの回転防止ロック（写真 24）はハンドル部分のフレームに取付けます。

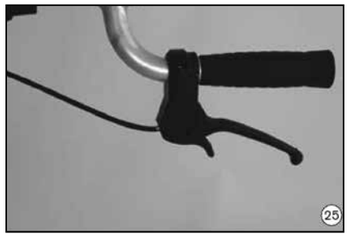


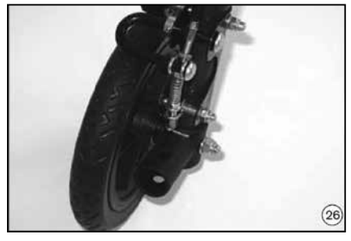
6．2 後輪ブレーキ（減速と駐車）

⚠ 注意	● **ブレーキの不具合による怪我の恐れ**　ブレーキが正しく作用するか定期的にチェックしてください。場合によっては調整をお願いします。また､タイヤが摩耗して傷んでいる場合は交換してください。

ブレーキを使用するとお子様が速度をコントロールできるだけでなく、安全にヌルミ ネオを止めることができます。

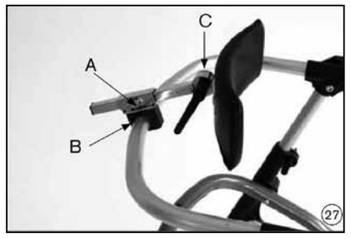
ヌルミ ネオを止める時にはブレーキハンドルをしっかり握ってブレーキを掛けてください。人差し指でレバーを押し込みロックを掛けます。ロックを外すにはブレーキハンドルを軽く握ると、ロックが外れます。ブレーキがしっかり効かない場合は左右のブレーキケーブルの調整用ネジで調整してください。（写真 26）



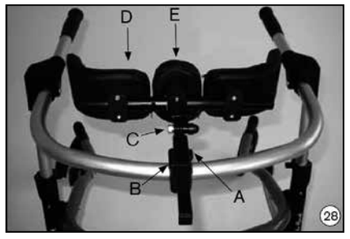


6．3 バックサポートと骨盤サポートパッド

パックサポート（写真 27）や骨盤サポートパッド（写真 28）を使用することで、お子様が的確な姿勢が取れるようにサポートします。多くのお子様は後ろに寄りかかりるように自分を支えがちですので、このようなサポートパッドを使用することでお子様の立ち位置をハンドルの近くにすることができ、直立の姿勢が取りやすいようになります。パックサポートの幅は約 30cm あり、少し丸みを持たせてあります。角度の調整が可能です。



骨盤サポートパッド（写真 28 の D）は幅と角度の調整が可能です。中央部分のパッド（写真 28 の E）は取り外すことができますので、幅を狭く設定することも可能です。



バックサポートと骨盤サポートパッドは 3 方向に調整できます。

1） ハンドルの取付け部上部のネジ（写真 27・28 の A）でパックサポートの前後位置を調整できます。

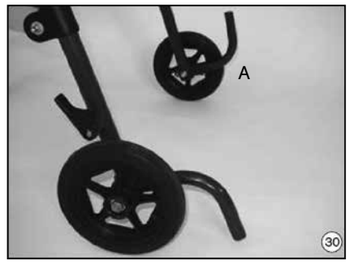
2） 高さはハンドル取付け部の固定金属部（写真 27・28 の B）とパッド近くの固定金属部（写真 27・28 の C）を回すことで調整できます。

3） 角度はパッド近くの固定金属部（写真 27・28 の C）を緩めることで調整できます。

6．4 転倒防止装置

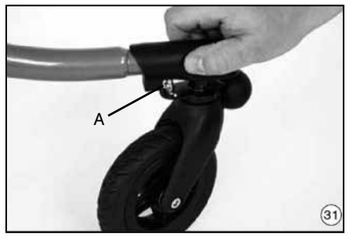
転倒防止装置を取り付けることで、お子様が後方に倒れることを防ぎ、安定性を増すことができます。転倒防止装置は全てのサイズに取付けることができます。スプリングストッパーを押しながら転倒防止装置を後輪の受けに（写真 29）差し込んでください。

回転しないようにストッパーで固定されることを確認してください。転倒防止装置を使用しない時は上向きに（写真 30 の A）設定してください。



6．5 前輪キャスターロック

前輪キャスターロックはヌルミ ネオを使用し始めたばかりのお子様には特に適しています。ヌルミ ネオを進める方向をコントロールするためにお子様はバランスを取る必要があります。初期の段階では、前輪キャスターロックを使用することで前輪の方向が固定され、ヌルミ ネオを操縦し易くなります。前輪にロックを掛けるには、ロックカバーを前輪上の袋ナット（写真 31 の A）が隠れるまで引き出してください。



前輪のロックを解除するには、ロックカバーを袋ナットが動くようになるまで後ろにスライドさせてください。

必要ならば直進の動きを再調整することもできます。前輪上にあるボルトがスリット内を動くようになるまで、ボルトを緩めます。ロックを掛けて、前輪を進行方向にセットします。10㎜のレンチを使用してボルトを軽く締めてください。ロックカバーを解除して、前輪を外側に回して、2 本のレンチを使用して（写真 32）ボルトをしっかり締めてください。

前輪キャスターロックの改造はお買い求めになられた販売店でのみ行ってください。

6．6 摩擦ブレーキ

⚠ 注意

● **ブレーキの不具合による怪我の恐れ**　摩擦ブレーキが正しく作用するか定期的にチェックしてください。場合によっては調整をお願いします。また、タイヤが摩耗して傷んでいる場合は交換してください。

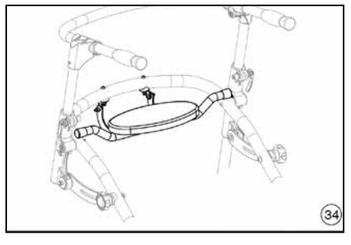
摩擦ブレーキはスピードを減速するのに使用します。摩擦ブレーキの圧が後輪のハブに掛かり、後輪に抵抗を掛けてスピードを減速させます。内部のボルト（写真 33）を緩めたり、締めたりすることによって後輪に掛かる抵抗を調整することができます。

6．7 シート

⚠ 注意

● **重量オーバーによる転倒の恐れ**
シートの耐荷重はサイズ 1 で 25kg、サイズ 2 で 40kg、サイズ 3 で 55kg です。

シート（写真 34）は普通の椅子のように座ってくつろぐために設計されていません。お子様がヌルミ ネオを使用している間に、時々休憩をとることのみを目的にした補助装置です。歩いている時はシートを跳ね上げて、使用する際にはシートを降ろしてください。

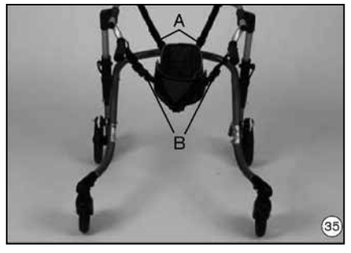


6．8 スリングシート

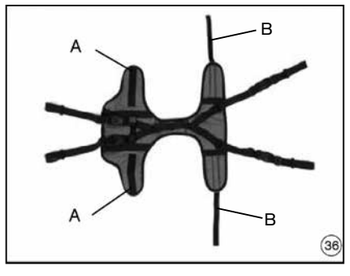
⚠ 注意

● **重量オーバーによる転倒の恐れ**
シートの耐荷重はサイズ 1 で 25kg、サイズ 2 で 40kg、サイズ 3 で 55kg です。

スリングシートは歩行トレーニング中のお子様を効果的にサポートします。お子様は何時でも休憩を取ることができ、急に疲れを感じたり、突然バランスを崩した際にも転倒を防ぐことができます。
（写真 35：ヌルミ ネオに装着時　写真 36：装着前の開いた状態）



スリングシートは長さの調整可能な 4 本のストラップでヌルミ ネオに装着します。（写真 35 の A/B）バックルを使用しているのでストラップからスリングシートを簡単に取り外すことができます。

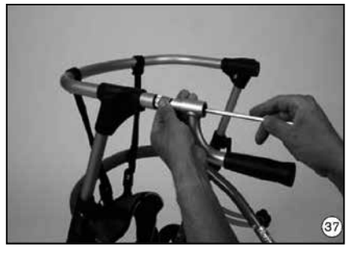


前方のバックルは普通のバックルのように片手で取り外すことができます。（写真 35 の B）後方のストラップは両手を使わなければ取りはずすことができない安全バックルを使用しています。
（ 写真 35 の A）

ユニバーサルグリップハンドル、前腕サポート付縦型ハンドル、セットハンドルミニを使用している場合は下記の手順でスリングシートを取り付けてください。

アドバイス

● ストラップはねじれが無いように取り付けてください。
ストラップが滑らないように金属部分にはループのゴム加工されている部分を合わせてください。



1） 最初にグリップ部（写真 37）をハンドル（写真 38）から取り外してください。

2） ストラップの端のループをゴム加工されている部分がフレームの金属部分と接着するようにフレームに通します。（写真 39）ハンドル部分のフレームをハンドル受け部分に再度取付け、ユニバーサルグリップも取付けます。

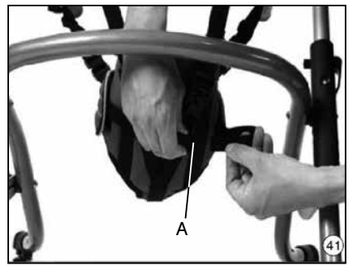
3） 次に前方部のストラップの端のループをユニバーサルハンドグリップに通します。（写真 40）スリングシートのベルクロ部分（写真 36 の A）を付けてシートを作ります。

スリングシートの高さはストラップの長さを調整して決定します。
ストラップに緩みが無いように、お子様が両方の足を地面につけて、しっかりと安全に立たせてください。

ストラップの調整方法

1）お子様の足の長さを測り、スリングシートの高さを決定します。
2）高さはストラップの長さで調整します。余ったストラップの端はカンに通してください。
3）ストラップをバックル・安全バックルで希望の高さで固定してください。（写真 40）ストラップの端はカンに通しストラップを固定してください。必要があればストラップの長さを再度調整してください。

スリングシートの装着方法



1） 開いたスリングシートの上にお子様を立たせて、両脇のベルクロ部分を閉じてください。（ 写真 36 の A）
2） 場合によってはストラップの長さを調整して、高さを再度調整してください。
3） スリングシートが意図せずに開かないように、ストラップ（写真 36 の B）を背部分のバックルに入れて（写真 41 の A）、常に締めてください。（写真 41）

⚠ 注意

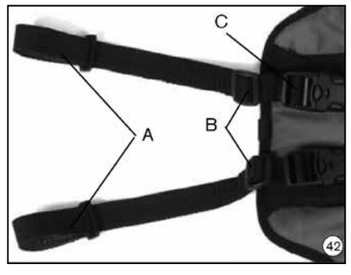
● **ストラップのバックルが意図せず外れてお子様が落ちる恐れ**　お子様がスリングシートを使用している時はスリングシートのストラップ（写真 36-B）は背部分のバックル（写真 41-A）に常に通しておいてください。

アドバイス

● スリングシートの前方の高さはストラップの長さを調整することで自由に高さを設定することができます。

ストレートハンドル（写真 11/12）を使用している場合は、背部分のストラップの装着方法が違いますのでご注意ください。

ハンドル部分は取り外しができないので、ハンドルに付けるために、後ろのストラップについているループ部分を開けなければなりません。（写真 42 の A）



アドバイス

● ストラップ一本ずつを装着して、以下のようにすべてのストラップを装着してください。

1） ストラップのカン（写真 42 の B）からストラップを抜いてください。安全バックル（写真 42 の C）を外してください。
2） ストラップのカンからストラップを引き抜き、ストラップを一本の状態にしてください。ハンドルにストラップの端をおいて、ループを閉じてください。
3） ストラップをカンに通して、安全バックルを閉じて、最初の状態に戻してください。

7章　メンテナンス、清掃と消毒

メンテナンス

ヌルミネオの機能を維持するために、以下の点を点検整備してください。

この製品は EU の 93/42/EEC 規格の要綱を満たしています。また、それに伴い、自社および検査機関における安全性に関する適合試験を実施し、すべての検査要綱の条件を満たしていることを宣言します。しかしながら、歩行器として正しく機能するには毎回ご使用される前に点検をしてください。

下記に示したリストは、介助者に定期的に行っていただきたい点検項目です。

点検項目	毎回使用前	毎週	毎月
フレームにシートがしっかり装着されているか	●		
逆転防止装置が正常に作動するか	●		
ネジ、ボルト類はしっかり締まっているか		●	
摩耗しているパーツはないか（例：前輪、後輪、ベアリング等）			●
ベアリングが汚れていないか			●

不具合に気が付かれた場合には、直ぐに使用を中止し、ヌルミネオをお買い上げいただいた販売店に連絡してください。12 ヶ月に一度、お買い上げいただいた販売店で、整備点検を行うことをお勧めします。

清掃と消毒

⚠ 注意

● **不適切な洗剤を使用しての損傷の恐れ**　全てのフレーム部分、人工皮革とプラスチック部分は家庭用の中性洗剤のみを使用して洗浄してください。

・フレーム部分とプラスチック部分は中性洗剤を使用して清掃してください。
・塩分を含んだ水がかからないように、気をつけてください。
・砂や、細かい汚れが車軸受けなどに入らないよう、ご注意ください。
・スリングシートは濡らした布で汚れた部分を拭いてください。汚れのひどい時は 30℃のぬるま湯で洗ってください。洗濯機を使用する場合は洗濯用の袋または枕カバーに入れて洗ってください。

8章　テクニカルデータ

	サイズ **1**	サイズ **2**	サイズ **3**
ハンドルの高さ 標準	45 - 57 cm	58 - 72 cm	64 - 85 cm
ハンドル間の幅 標準	41 cm	46 cm	51 cm
ハンドルの高さ ユニバーサルグリップ	38 - 57 cm	51 - 72 cm	57 - 85 cm
ハンドル間の幅 ユニバーサルグリップ	27 - 41 cm	32 - 46 cm	37 - 51 cm
ハンドルの高さ セットハンドル ミニ	31 - 48 cm	-	-
ハンドル間の幅 セットハンドル ミニ	20 - 41 cm	-	-
グリップの直径	3 cm	3 cm	3 cm
縦型ハンドルの高さ（床から）	53 - 75 cm	68 - 91 cm	71 - 95 cm
前腕サポート間の幅	25 - 41 cm	30 - 46 cm	35 - 51 cm
前腕サポート本体 幅×長さ	7 × 16 cm	7 × 21 cm	7 × 21 cm
全幅	63 cm	68 cm	72 cm
全長（転倒防止付き+ 10 cm）	65 cm	76 cm	83 cm
折りたたみサイズ（長さ × 幅 × 高さ）	65 × 63 × 24 cm	76 × 68 × 24 cm	85 × 72 × 24 cm
前輪タイヤ径	15 cm	15 cm	15 cm
後輪タイヤ径	15 cm	20 cm	20 cm
耐荷重	25 kg	40 kg	55 kg
重量	5.5 kg	6.0 kg	6.5 kg
シートの高さ	30 cm	45 cm	48 cm
旋回径	86 cm	99 cm	106 cm

フレームカラー	ピンク、グラニースミス、サターンブルー

9 章　オットーボック社製品の保証条件

保証対象
本取扱説明書にしたがって正しく使用された場合にのみ、保証の対象となります。
製品の保証内容は、保証書に記載されています。

製品の安全性
この製品は EU の 93/42/EEC 規格の要綱を満たしています。また、それに伴い、自社および検査機関における安全性に関する適合試験を実施し、すべての検査要綱の条件を満たしていることを宣言します。

損害賠償責務
製造元は、製品が定められた条件のもと、定められた目的に使用された場合にのみ責任をとります。
製造元は、製品が適切に、説明書従い使用され、点検されることをお勧めします。製造元が許可していないパーツや付属部品が原因の損害については、製造元は損害賠償責任を負いません。修理は、公認された販売店か製造元自身に依頼してください。

１０章　再利用情報

再利用と廃棄処理について

⚠ 注意	● **不適切な利用による危険**　シートなど直接肌に触れる部分は、製品の再利用の際に、次に利用者される方に、機能上あるいは衛生上の危険を引き起こす可能性があります。再利用の際には、必要に応じてこれらの部品を交換してください。

廃棄について
磨り減った、または損傷した部品は交換、撤去してください。廃棄の際は、地域の廃棄基準に従い行ってください。

サービスについて

オットーボック製品のサービスや修理は、販売店に依頼してください。適合などに不具合等がある際にも販売店にお問合わせください。

オットーボック社取扱店

掲載内容の無断使用禁止

掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載することを禁止します。

オットーボック・ジャパン株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-4-44 横河ビル8F

TEL：03-3798-2111（代表） FAX：03-3798-2112

www.ms.ottobock.jp

© Ottobock · 647G770=EN-05-1204 · MS_IFU_U_647G224=D/GB-12-1407